

# 海軍軍縮と五一五事件

——昭和維新のはじまり——

21世紀日亞協會 會長

伊原 吉之助

今後の予定：単発の書評と、昭和史の講義（獨立テーマで繋ぐ）を混ぜて行きます

- 1) 2月18日 新伊原塾 49 (大版)：昭和史V：世界大不況からの脱出競争とブロック経済の試練  
(辯護士會館) 北浜 池田美智子『對日經濟封鎖：日本を追ひ詰めた12年間』(日經新聞社、1992.3.25) 1748圓+税
- 2) 3月18日 新伊原塾 50 (大版)：昭和史VI：大量生産への道：我國の總力戰對應努力 (一)  
(辯護士會館) 北浜 竹村民郎『戦争とフォーティズム：戦間期日本の政治・經濟・社會・文化』(藤原書店、2022.6.10) 4800圓+税
- 3) 4月18日 新伊原塾 51 (大版)：昭和史VII：二二六事件：昭和維新成らず  
明治維新 → 第二維新 → 大正維新 → 昭和維新 (二・二六事件で維新運動消滅)  
堀 眞清『二・二六事件を読み直す』(みず書房、2021.2.26) 3600圓+税  
田中健之『昭和維新：日本改造を目指した“草莽”たちの軌跡』(學研プラス、2016.3.8) 2800圓+税  
谷田 勇『實録・日本陸軍の派閥抗争』(川喜多コーポレーション、2002.8.15) 4600圓+税
- 4) 5月 日 新伊原塾 52 (大版)：昭和史VIII：我國の總力戰對應努力 (二)  
片山杜英『未完のファシズム：「持たざる國」日本の運命』(新潮選書、2012.5.25/2013.1.15 8刷)
- 5) 6月 日 新伊原塾 53 (大版)：書評：兵頭二十八『地政學は殺傷力のある武器である』(徳間書店、2016.2.29)

このほか、わくわくするやうな興味深い新刊書が續々出てありますので、どんどん取上げて行きます。  
請ふ御期待！

## I. 時事問題からの設問：

- (1) 2022.12.24 「世直し訴訟」のこと (AC論説 No.922 アンティ・チャン)：①メディアが 頼らないので 知らぬ人が かなり 多い  
と思うが、アメリカには イロン・マスク の「ツイッターの陰謀を暴く世直し」以外に もう一つの「世直し訴訟」がある。この  
訴訟が 最高裁に 受理されるかどうかは全く判らぬが、若し最高裁に受理され、Brunson の 提訴が成功すれば アメリカの 政  
治が 根本から ひっくり返る。最高裁が 却下しても 巡回法廷の 案件は まだ残っている。②この訴訟は Brunson vs. Adams と 稱ばれる  
訴訟で、簡単に言えば Brunson兄弟が 國民を代表して バイデン大統領 と ハリス副大統領、及び 385人の国会議員らを 憲法違反と 国  
家反逆罪で 提訴したのである。これだけ大人数の政治家が被告だから、裁判で 有罪となれば アメリカの 政治が ひっくり返る。  
③元々 Brunson兄弟 は 2022年 5月に ユタ州 地方法廷に この訴訟を 提起した。所が ユタ州の 法廷は 半年後の 10月7日に 訴  
訟を 却下した。それで Brunson兄弟は 直ちに 10月26日に アメリカ第10巡回法廷 (10th Circuit court) に 上訴した。そればかりか、  
Brunson兄弟 は、これは アメリカ國家の 安全保障 (National Security) に 関する 大問題だと の 理由で、巡回法廷の 訴  
訟案件を残した儘 最高裁に 直訴したのである。そこで最高裁に 電話で 最高裁 が この案件を受附けるかどうかを  
尋ねた所、最高裁側は 案件を 受理する検査は 数週間かかると 答えた由。つまり最高裁が 受理するかどうかは 年末年始の数週  
間以内に 判る。④Brunson兄弟 が 大統領と 385名の 国会議員を 告訴した理由は 「2020年の インチ選挙の調査」ではない。  
Brunson兄弟 の 訴訟の 主旨は 以下の通り：(1)2020年の 選挙 では 投票、計票 の インチについて 数多の訴訟が起きていた。(2)に  
も拘らず、国会は 調査せずに バイデン の 当選を 承認した。(3)アメリカ國民 は 選挙で 大統領を選出する 権利が 憲法で 規定されて

いる。(4)国会議員は国民の権利を守ることを宣誓している。国民の憲法上の権利を剥奪する行為は許されない。(5)国会が違法を調査せずバイデンの当選を認めたのは国民の憲法上の権利を奪ったのである。(6)従って有罪判決となれば彼らの役職を剥奪し、国政に参与することを永久に禁止すべきである。⑤バイデン下、385人の議員が政界から永久追放されればアメリカの政治体制がひっくり返る。その上で中期選挙の再調査及び、Deep Stateとサウ民主党は全滅に近い打撃を受けるだろう。⑥最高裁はBrunsonの訴訟を受理するだろうか？最高裁は法の正義、国民の権利を守るだろうか？2020年選挙の時、John Roberts主席判事はテキサス州と別の17州の司法長官が連名で選挙違法を提訴したのを却下した。だからBrunsonの「世直し訴訟」も却下する見込みもある。

(2) 2023. 1. 8 台湾与党、補選でも敗北 総統選へ立て直しが急務 (台北新聞 『経』 1.9, 5面) : ①台湾の台北市で8日、立法委員の補欠選挙が行われ、最大野党、中国国民党の王鴻薇氏が与党、民主進歩党(民進党)の呉怡農氏を破った。中央選挙委員会が明らかにした。②民進党は昨年11月の統一地方選での大敗に続く敗北。来年1月に予定される総統選に向けた立て直しを迫られている。③対中融和路線の中国国民党の朱立倫党主席は「我々が団結した結果だ」と勝利を誇示。民進党の党主席代理、陳其邁・高雄市長は「党の方針を調整する」との談話を発表した。④補選は昨年の統一地方選で台北市長に当選した国民党の蔣萬安氏(昨年12月就任)の立法委員辞職に伴い実施。蔣氏は台湾を独裁支配した蒋介石の曾孫。この選挙区は公務員や元軍人など伝統的に国民党支持者が多く、2016年、20年 の蔣氏を含め中国国民党が4連勝していた。

(3) 2023. 1. 10 バチカンの狂気 (鍛冶俊樹の軍事ジャーナル、1.10号) : ①先月、出版されたチェイツン・モーガン著『バチカンの狂気』(ビブス社刊)を読んだ。バチカンとはカトリックの総本山で、イタリアのローマにある。そのトップはローマ教皇だ。日本では、少し前までローマ法王と呼ばれていたが、今はカトリック教会の意向でローマ教皇と呼ばれている。教皇と言う呼び方に、いまだになじめないと言う人が日本では多いようで、私も実は、その一人だった。「法王」には温和な語感があるのに対して、「教皇」には強硬で恐ろしい語感がぬぐえない。②所が本書を読んで、今の教皇はまさに恐皇であり狂皇であり、温和で良識的な法王のイメージとは程遠い存在であることが、よくわかった。二千年の歴史を誇るバチカンは、今や左翼の巣窟になり果てているのである。③日本ではキリスト教徒は極めて少なく、従って、カトリック教会の社会的影響も限られているから、カトリックの総本山が左翼に乗っ取られていても、大した問題ではないと思うかもしれない。だが、実は左翼の浸透工作は宗教界全体をターゲットにしており、プロテスタントや佛教界にも左翼の手が伸びている。欧米でLGBTQなどの運動が勢力を得ているのも、日本で護憲勢力が強靱なもの、まさにその成果である。④LGBTQはキリスト教の本来の教義に反しているから、この運動を推し進めてゆけば、必然的にキリスト教は崩壊する。欧米ではキリスト教は最大の保守・反共勢力だから、これを壊滅できれば、左翼の天下となろう。⑤日本の場合、佛教の不殺生の教えを憲法9条に絡めれば、元々政治や国防に疎い僧侶など、いちころで左翼の御先棒を担いでしまう。幾ら防衛費を増やしても憲法を変えなければ自衛隊は軍として機能しないから、共産勢力にとっては思う壺である。⑥チェイツン・モーガン氏は米国出身の敬虔なカトリック信者だが、今のバチカンの惨状を見て、やむにやまれぬ思いで本書を執筆した。敬虔なカトリック信者にとってローマ教皇は神の代理人であり、それを批判するには、大変な勇気を要する。勇気ある内部告発に敬意を表するものである。

(4) 2023. 1. 10 バイデンが放置した機密資料 (AC通信No.923/1.10) : ①昨日(1月9日)の午後、CBS Newsはバイデン大統領がオバマの副大統領だった時代に使っていたワイスから数件の機密資料が発見されたと報道した。この事件は去

年8月にFBIの武装人員がトランプのマーラー別荘を急襲して数多の資料を押収した事件と比較され、バイデンは窮地に立たされている。②バイデンはオバマの大統領だった時代に、WHから車で10分ほど離れた所に大統領オフィスを構えていた。それが5年後の2022年11月2日になって漸くバイデンが放置していた資料箱から「数件」の機密資料が普通の資料に混ざって発見された。③発見された機密資料は数件とされていたが、やがてそれは全部で10件で、資料の内容はイラン、ウクライナ、アラブ連合首長国(UAL)に関するものだったと追加報道された。WHの法律顧問は直ちにこれをDOJに報告し、翌日彼らの資料をNational Archive(国家資料保管所)に移された。④バイデン大統領はなぜ機密資料を普通の資料と一緒に放置していたのか、なぜ彼の使っていたオフィスが5年も放置されていたのかなど、疑惑はどんどん膨らんでいる。然も資料が発見されたのは11月2日、つまり中間選挙の4日前だったのに、WHの法律顧問は資料を発見したあとDOJに報告して、「適当な時期」に発表する筈だったと答えた。適当な時期を2ヶ月後は誰が決めたのか? ⑤この事件は直ちにFBIがトランプの別荘を急襲して資料を押収した事件と比較され、WHと左翼メディアは弁解で真っ青になっている。トランプは今朝のサヨクメディアの弁解である。

Q: バイデンが機密を放置したのはトランプと同罪ではないのか?

A: バイデンは資料を「置き忘れた」のであって、トランプは「意図的に」資料を保持していたのである。どちらも同罪の筈だが、バイデンは「忘れただけ」だが、W. Postの女性記者は「トランプは資料を保持して誰かに売り渡そうとしていた」と勝手な憶測を述べた。然もサヨクの説明ではトランプが核機密の資料を保持していたが、バイデンは核機密の資料ではなかったとも言っている。

Q: 機密資料を普通の文書と一緒に置いていたのはなぜか?

A: バイデンが置き忘れたのは10件だけ。トランプは300件の資料を保持していた。一件でも数件でも同罪である。然もバイデンの機密を解除していない資料だが、トランプの保持していた資料はみんな大統領の権限で機密解除されたものである。然もトランプの資料はFBIが彼の別荘を強襲して押収したもので、剩えFBIはトランプの別荘を強襲した捜査令状を公開していない。

Q: なぜ5年間も資料を放置していたのか?

A: バイデンは資料を放置していたが、トランプは故意に資料を保持していた。つまりDeep Stateは強引にバイデンの過ちを過小評価し、代わりにトランプが機密を「誰かに」売る意図があったと仄めかしている。

バイデンが自分のオフィスにある資料をそのまま5年間も放置していた責任は彼自身にある。これが発見したのはバイデン自身ではなくWHの法律顧問か、または機密セキュリティを持たない掃除婦だったのかもしれない。この点は厳しく究明すべきである。

明かにバイデン陣営はこれが大事件に発展せぬよう、過小報道をしている。DOJとメディアは明かにバイデンとトランプを不公平に扱っている。新国会ではすでにトランプの別荘を強襲した事件の調査を開始しているのでバイデンの機密資料放置とDOJの不公平な態度も調査される筈だ。バイデン陣営は明かにこの事件をもみ消すため躍起になっている、つまり「大事化小、小事化無」である。

バイデンは今北コでNorth American Summitに参加している。今朝の会合で新聞記者がこの事件について質問したがバイデンは答えず。

## II. 昭和維新の系譜：明治維新以来続く「反体制」「世直し」の系譜が昭和初年代後半に芽を吹く……

(1) 未完の明治維新：明治維新を乗っ取った薩長藩閥政治 → 「夜明け前」の思ひを深めた人達の存在

### ①明治維新：尊皇攘夷(幕府打倒)

明治初年代に、不満分子の武装蜂起相次ぐ：

戊辰戦争 → 明治新政府内での闘争 続く(平田派國學の挫折) cf. 島崎藤村『夜明け前』

叛亂 相次ぐ：明治7.2.1 佐賀の亂（江藤新平）→ 明治9.10.24 神風連の亂／27 秋月の亂／28 萩の亂（前原一誠）  
明治10.2.15 西南戦争勃發 → 3月の 田原の合戦 がピーク。9.24 西郷隆盛 自刃。西南戦争 終る  
自由民権運動 → 初期の議會で政府と民黨の對立抗争 續く……

日清戦争・日露戦争 で「國民統合」nation-building 成る

②大正維新：閥族打破・憲政擁護（反薩長） 護憲運動の總大將は犬養毅・尾崎行雄の二人  
第一次護憲運動＋第二次護憲運動

大正時代 は“大正アモクラー”？ No! 無政府主義・社會主義・共產主義 が 到來して青年層に浸透……

③昭和維新：軍縮・金融恐慌・農村不況 が 導因となり、昭和維新運動 が 活潑化……

以下、田中健之『昭和維新』（學研プラス、2016.3.8） 2800圓+税 の目次を寫す

#### 第一部「昭和維新」の胎動

序 章 昭和維新への前奏曲

第一章 濱口雄幸首相狙撃事件

第二章 櫻會と三月事件

第三章 錦旗革命事件

第四章 血盟團事件

#### 第二部 五一五事件から二二六事件へ

第五章 五一五事件 その1

第六章 五一五事件 その2

第七章 天行會および獨立青年社事件

第八章 神兵隊事件

第九章 救國埼玉青年挺身隊事件

第十章 少年血盟團事件

#### 第三部 二二六事件：「昭和維新」の挫折

第十一章 陸軍士官學校事件

第十二章 眞崎甚三郎教育總監更迭問題

第十三章 永田鐵山斬殺事件

第十四章 相澤事件公判鬭争

第十五章 民間壯士の「二二六事件」

第十六章 二二六事件（尊皇討奸事件）

第十七章 東條英機暗殺計劃

### III. 昭和史IV：海軍軍縮と五一五事件：英米との協調と對立……

（1）昭和の鬱積：陸海軍と農村に鬱積が溜つた → “暗殺政治” へ……

①明治維新以來、我國は“非西洋國” 中で唯一「列強」になつたが、かなりの“無理” を重ねてきた  
それに追討をかける“ I 大戦の重壓”：農村不況／陸海軍の軍縮と現代化（總力戦への備へ）の重壓

②近代化を支へ續けた農村に襲ひかかる“農業不況”：凶作 → 豊作貧乏……

③總力戦への備へ： I 大戦で軍備の水準が大幅に高まる……

海軍軍縮：1921-22 ワシントン會議：主力艦（戰艦）の制限

1927 ジュネーヴ會議：成果なし

1930 ロンドン會議：補助艦の制限。對米7割を略實現するが、重巡洋艦で6割に留る

→ “統帥權干犯問題” 發生……

1935-36 ロンドン會議：日本脱退。大和・武藏建造へ

→ 戦艦中心で考へ續ける海軍軍人の頭の固さは“度し難い！”

誰もが「艦隊決戦」を想定し、空母中心の機動部隊（飛行機中心）を想定せず

日本の真珠灣攻撃で米海軍は切換へたが、日本海軍は切換へず……

陸軍軍縮：1921- 山梨軍縮（五個師團相當の將校 2168名 准士官以下 5萬7296名 馬匹 1萬3000頭 削減）

裝備近代化預算 9613萬を13年間の分割拂ひ

1924- 宇垣軍縮（四個師團 削減、その費用で軍の近代化を推進）

新設：航空部隊10個中隊／氣球1個中隊／戦車教導隊・戦車隊1個／高射砲部隊

2個／化學兵器・通信設備・自動車などの充實、支援火力の充實 など

配屬將校制度：中等學校 以上の公立學校に將校を派遣し、學生の軍事教練を必修化

④農業不況：I 大戦が齎した農業不況 → 農業の構造變革

彈藥製造會社 → 戦後、化學肥料生産に轉換 → 農産物増産へ → 豊作貧乏へ

馬匹 → トラックへ（馬の飼料、不要となる）

→ 世界の農業は、II 大戦勃發まで“構造的に不況状態”續く……

（2）五一五事件前史：

津久井龍雄『昭和維新』（昭和48/1973. 9. 20） 880頁

田中健之『昭和維新：日本改造を目指した“草莽”たちの軌跡』（學研プラス、2016. 3. 8） 2800頁+税

保阪正康『五・一五事件：橋孝三郎と愛郷塾の軌跡』（草思社、1974. 1. 10） 1500頁

①昭和5年の ロンドン海軍軍縮條約締結 → 統帥權干犯問題 發生

昭和5年9月 橋本欣五郎陸軍中佐ら、櫻會結成

昭和5/1930. 11. 14 濱口雄幸首相、東京驛頭で愛國社の同人 佐郷屋留雄に狙撃され重傷

昭和6. 8. 26 濱口雄幸 歿

佐郷屋留雄の一發：昭和維新 開始の號砲。以後、堰を切つたやうに事件が續發

三月事件・十月事件・血盟團事件・五一五事件・神兵隊事件・二二六事件……

「この年、西曆の1931年を“いくさはじまる”と讀む易者がゐた」（『櫻の義』387頁）

②昭和6年 三月事件 軍部への未遂：陸軍中樞 と 民間大川周明らの陸軍宇垣内閣創設企劃

→ 宇垣陸相の變心で不發に終る

③昭和6年9月18日 滿洲事變 勃發

④昭和6年 十月事件：陸軍内閣創設の第二企劃、事前に檢舉され、未遂で終る

昭和4. 9. 28 政友會總裁 田中義一 心臟麻痺で急死 → 10. 12 犬養毅が後繼總裁に就任

昭和6. 12. 12 大命降下。

陛下のお考へ：軍の不統制を憂慮。「犬養、軍部の横暴を抑へて欲しい……」

⑤昭和6年 12. 13 犬養政友會内閣 成立：藏相 高橋是清、陸相 荒木貞夫、内閣書記官長 森恪

初閣議で金輸出再禁止

犬養首相、滿洲切取りに反對して陸軍と對立し、五一五事件で殺害されることになる

萱野長知を支那に送るが、この動き、陸軍に阻止されて事成らず……

⑥昭和7年1月31日 井上日召・古賀清志海軍中尉ら、血盟團事件・五一五事件の計劃を決める

2月 9日 前藏相 井上準之助、血盟團員 小沼 正に射殺さる

3月5日 三井合名理事長 團琢磨、血盟團員 菱沼五郎 に 射殺さる

3月11日 血盟團長 井上日召 自首

(3) 五一五事件：

林 新・堀川恵子『狼の義：新犬養木堂傳』（KADOKAWA, 2019. 3. 23） 1900圓+税

古島一雄『一老政治家の回想』（中央公論社、昭和26. 5. 5/44. 6. 25再版） 550圓

①五一五事件は“三段跳び”である（保阪正康『五・一五事件』266頁）

ホ ッ プ：軍人+農民

ステップ：政治家+軍上層部

ジャンプ：公判時に出現する百萬通に及ぶ減刑嘆願書に見られる國民感情

②第五次まであつた蹶起計画：

第一次計画：三組から成る。3月28日、6ヶ所を襲撃：首相官邸・内大臣官邸・工業倶楽部・華族會館・政友會本部・民政黨本部。その後、三組に分れて行動する。

第一組：市ヶ谷刑務所を襲撃して日召ら血盟團の同志を奪回

第二組：權藤成卿を陸將官邸に連れて行く

第三組：東郷元帥を宮中に案内し、戒嚴令を布き、新内閣を樹立する

第二次計画：4月16日立案。橘孝三郎が傍聴券により議會に入り、手榴弾を投擲して大混亂を惹起し、海軍の同志が外で襲撃行動を起こして一気に戒嚴令を布かせる

第三次計画：4月27日立案。首相官邸で行はれるチャップリン歓迎會に濫入して殺す

來日日程が二轉三轉した上、官邸での歓迎會も確定的でなかつたため、中止

第四次計画：首相官邸襲撃・警視廳襲撃を骨子とするもの。林正義ら佐世保の同志の日程遣り繰りが出来なかつたので實施されず

第五次計画：五一五事件として實行された案

③リ-ダ-格：海軍中尉 古賀清志の樹てた「五・一五計画」——全體を六組に分ける

第一組（本隊）：首相官邸を襲ひ、犬養首相を暗殺する

第二組：牧野伸顯内大臣官邸襲撃

第三組：政友會本部襲撃

第四組：三菱銀行襲撃

第五組：別動隊として、裏切者（時期尚早 と プレ-キ をかた）西田税襲撃・殺戮

第六組： “ 變電所を襲撃して帝都を暗黒化し、戒嚴令を施行させる

目 的：天皇親政による國家革新「昭和維新」を斷行する